

# コミュニケーション

# 科学

## 2005 NO. 22

### 猪狩誠也教授退任記念号

猪狩誠也教授近影

猪狩誠也教授退任記念号の発刊に寄せて……………有 山 輝 雄  
猪狩誠也教授年譜並びに主要著作

#### 論 文

ジョン・ロックにおける「寛容」論の近代的転回……………香 内 三 郎  
現代マガジンの特徴……………川 井 良 介

Investigating Students' Responses on Listening Test Items  
through the Rasch Model……………中 村 優 治

イスラーム地域としての中国とタイ (2)  
——タイにおけるムスリムの歴史——……………木 村 正 人  
松 本 光太郎

経済事件の発覚過程と報道の役割……………駒 橋 恵 子  
「すぎる」構文：書き言葉における実例の分析……………中 村 嗣 郎

環境政策と環境コミュニケーション……………清 水 正 道  
「産学連携」論——コミュニケーション学からの考察—— ……田 村 紀 雄  
染 谷 薫

日本の地域メディアにおける地域情報形成過程に関する考察…牛 山 佳菜代  
姜 英 美  
川 又 実

#### 研究ノート

企業変革のコミュニケーション……………剣 持 隆  
フリーペーパーの広告主——商店はなぜ広告を出すのか——

……………田 村 紀 雄  
および大学院生

若者ことばをフィールドワークする……………瀬 沼 文 彰

#### 評 論

NTT を再びエクセレント・カンパニーにするために……………林 龍 二  
メディアとしてのからだ……………渡 辺 潤

#### 書 評

日本出版学会編『白書出版産業』文化通信社 2004 年……………宮 下 正 房

#### 翻 訳

なぜ3回の露出で十分か……………八 卷 俊 雄

付属 DVD-ROM コンテンツ解説……………田村紀雄 木村正人 松本光太郎

# 東京経済大学コミュニケーション学会会則

- 第1条 本会は東京経済大学コミュニケーション学会という。  
本会の事務局は、東京経済大学コミュニケーション学部に置く。
- 第2条 本会はコミュニケーションの研究の進展およびその普及を目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。  
①機関誌『コミュニケーション科学』の発行及び普及  
②研究会及び講演会の随時開催  
③その他
- 第4条 本会の会員は次の者とする。  
①東京経済大学コミュニケーション学部の専任教員  
②東京経済大学の教員で入会を希望する者  
③東京経済大学コミュニケーション学部の専任教員を退職した者
- 第5条 1 本会に次の役員を置く。  
①会長  
会長は会を代表する。  
②理事  
理事は会の運営にあたる。ただし、理事の人選については別に定める。  
2 役員任期は1年とする。ただし再任はこれを防げない。
- 第6条 本会の会員は、第3条に定める目的を達成するために、会の運営に協力する。
- 第7条 本会の会費については別に定める。
- 第8条 本会則の改正及び変更は会員総会の決議による。